

江南市戦略計画に関する 住民説明会



次 第

あいさつ

1. 説明

- (1) 第二次改訂基本計画の概要について
- (2) 中期計画期間の成果と課題について

2. 質疑応答・意見

月 日	時 間	場 所
1月26日(日)	午前10時～午前11時30分	すいとぴあ江南(多目的ホール)
1月28日(火)	午後7時～午後8時30分	宮田地区学習等供用施設(2階 集会室)
1月30日(木)	午後7時～午後8時30分	布袋ふれあい会館(2階 会議室)
2月 1日(土)	午前10時～午前11時30分	市民文化会館(小ホール)

平成26年1月
江南市

●目 次●

第二次改訂基本計画の位置づけ	1
基本構想の概要	3
基本計画の見直し方針	7
中期計画期間の成果と課題	9
目標フレーム見直しの考え方	20

▶▶▶ 第二次改訂基本計画の位置づけ

1 背景

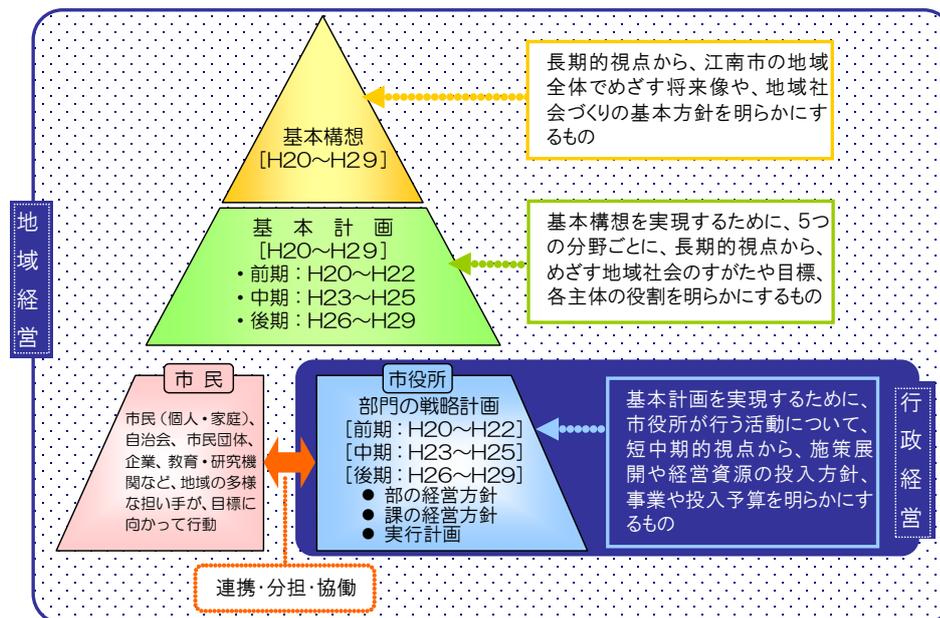
江南市では、平成 20 年度に、向こう 10 年間で江南市がめざすまちづくりの目標と、その実現方策を示す江南市戦略計画を策定し、市民と市役所が一丸となってまちづくりを進めてきました。

基本計画は、平成 20 年度から平成 22 年度の前期計画期間、平成 23 年度から平成 25 年度の中期計画期間を終え、各分野で成果があがりつつある一方、平成 29 年度の最終目標の達成に向けて、まだ重要な課題が残る分野もあります。また、歯止めのかからない少子高齢化、東日本大震災の経験や影響、国の経済・財政政策の転換など、この間の社会経済情勢の変化は大きく、今後適切な対応が求められるところです。

このような状況を受け、平成 23 年度に策定した中期基本計画の内容を見直し、平成 26 年度からの後期計画期間における、江南市のまちづくりの目標と方針を明らかにするために、江南市戦略計画第二次改訂基本計画を策定するものです。

2 計画の構成と期間

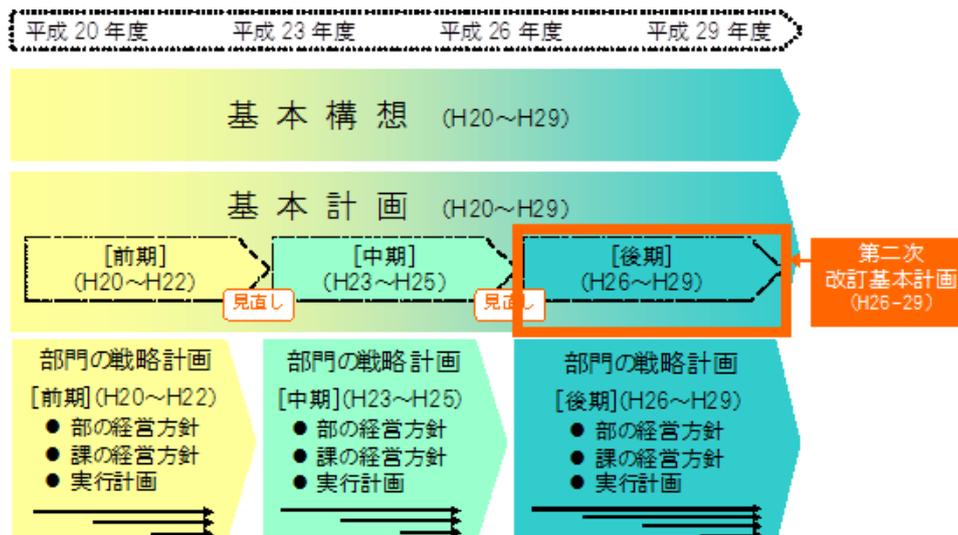
江南市戦略計画は、「基本構想」、「基本計画」、「部門の戦略計画」で構成されていますが、「江南市戦略計画第二次改訂基本計画」は、後期計画期間における「基本計画」をまとめたものです。



【 計画の構成 】

《江南市戦略計画の2つの機能》

- ①江南市として、地域全体の将来像や目標を明らかにし、それを地域全体で共有するための『地域経営の指針』
- ②市役所として、施策展開や資源投入の方針を明らかにし、戦略的な経営を行うための『行政経営の指針』

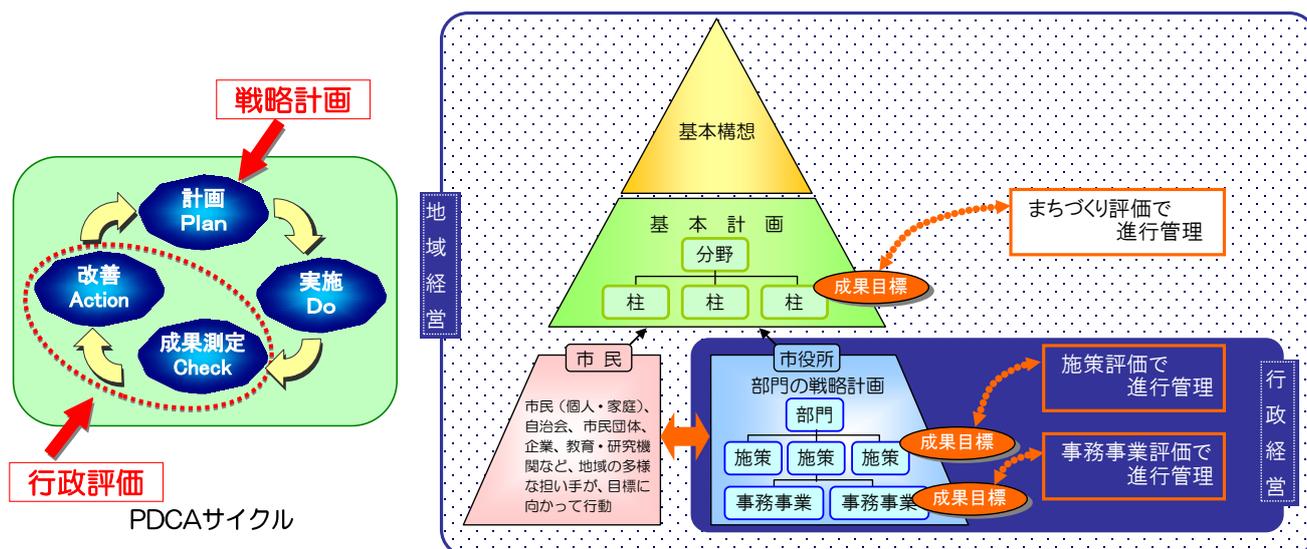


【 計画の期間 】

3 計画の運用

江南市戦略計画は、計画の策定 [PLAN]、実施 [DO]、成果測定（評価）[CHECK]、改善 [ACTION] というPDCAのマネジメントサイクルを確立することにより、適切に運用していきます。また、計画の進行管理は、「行政評価システム」を活用して、定期的な「成果測定（評価）」と恒常的な「改善」を通じて実施します。「市民と市役所が推進するまちづくり」、「市役所が推進する施策」、「市役所が推進する事務事業」の3つの階層において、進行管理を行います。

江南市戦略計画第二次改訂基本計画についても、この考え方にに基づき、運用を図ります。



【 進行管理のイメージ 】

▶▶ 基本構想の概要

1 将来像

地域社会のしくみ

だれもが主役、
みんなで築く、みんなの郷土

～地域の進むべき方向を「共に考え」 地域づくりを「共に担う」～

地域の進むべき方向は地域のみんで考えて選択し、それを目標として共有すること、また共有した目標に向かって、地域のみんが担い手となって力を発揮し協力し合うこと—そういった地域社会のしくみを構築することにより、江南市を郷土として想い、愛着をもつ地域の構成員みんなの満足感を高めていきます。

都市のすがた

豊かで暮らしやすい生活都市

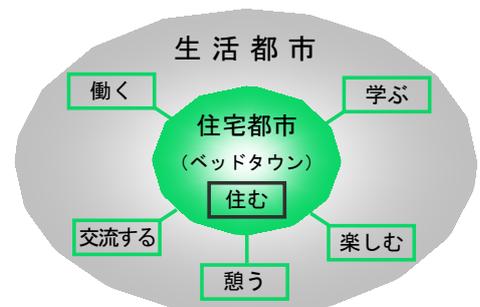
～市民の生活が地域で支えられる「生活都市」～

都市機能

- 安心・安全に暮らせるまち
- 快適・便利に暮らせるまち
- 市民が生きがいをもち、活力あふれるまち
- 豊かな人材が育つまち
- 環境と調和した豊かな生活の場があるまち

江南市は、これまで、名古屋近郊の「ベッドタウン」として発展してきました。今後は、温暖な気候、豊かな自然、名古屋へのアクセスの良さなどの潜在的資源をいっそう活かし、都市機能を充実させるとともに、コミュニティビジネスの創出や既存の生活産業の活性化を図ることにより、市民の生活が地域で支えられて、市民がより豊かに暮らすことのできる、自立し活力ある「生活都市」へと転換をめざします。

生活都市とは・・・ 住む、働く、学ぶ、楽しむなどの広い意味の生活機能を備えた都市のこと。「住宅都市(ベッドタウン)」を核に、さまざまな生活機能が付加された「生活者」のための都市。「生活者」自身も、環境や福祉などの地域社会の抱える課題の解決をめざして、自主的・自立的に行動することにより、「生活都市」が実現されます。



2 市民と市役所の役割

市民と市役所の役割

市民の役割

- 市民は、地域社会づくりの「主役」になって、地域の進むべき方向性を市役所と共に考える。
- 市民は、公共サービスの「受け手」であると同時に、「担い手」であるという意識をもち、市役所と協力して地域社会づくりに力を結集する。

市役所の役割

- 市役所は、市民と共に地域社会のあり方を考え、地域の資源をコーディネートして、地域に新しい価値を生み出す。
- 市役所は、地域の実情に合ったきめ細かなサービスを、効率的かつ効果的に提供する。

3 地域経営のあり方

めざす地域経営のすがた

市民（個人・家庭）、自治会、市民団体、企業、教育・研究機関、市役所などが、強固な信頼関係の下、市の将来像や目標を共有するとともに、それぞれの得意な分野で力を発揮し、連携・分担・協働により課題解決を図りながら、その実現に向けて協力し合っている。

地域経営の基本方針

- 1 人材育成
- 2 情報共有
- 3 市民参画の推進
- 4 協働の環境づくり

協働の基本的な考え方

協働の目的と意義

新しい時代に適応した、自由で文化的な成熟した新しい地域社会—江南のまちを築いていくことが求められています。「協働」は、市民（個人・家庭）、自治会、市民団体、企業、教育・研究機関、市役所などが互いに助け合い、力を発揮し合うことにより、地域全体で新しい「公共」を創造し、市民を幸せにすることができる可能性をもっています。

協働の定義

江南市の地域経営における「協働」とは、「地域の構成員が共通の目標をもって協力し、地域の一員としての自覚ある立場から、地域をよりよくするための活動に自主的に取り組むこと」をいいます。さまざまな主体が、それぞれの得意分野で力を発揮するとともに、相互に協力して活動することにより、そこに相乗効果が生まれ、地域に、新たな価値がもたらされることが期待されます。

協働の担い手

市民（個人・家庭）、自治会、市民団体、企業、教育・研究機関、市役所などの地域の構成員が、協働の担い手となります。

協働の原則

「対等な関係」、「相互理解」、「目的・目標の共有」、「情報の公開と共有」の4つです。

4 行政経営のあり方

めざす行政経営のすがた

市役所の各組織が、展望や目標を共有し、使命を明確にして、戦略に基づいて、効率的で効果的な業務執行をしている。それにより、限られた経営資源の中で、最大の成果を実現し、市民からの信頼を得ている。国や県への依存から脱却し、自らが自信をもって政策展開を図っている。また、持続可能な財政基盤を確保している。全職員が、常に創意工夫をしながら業務を遂行するとともに、経営能力を向上させる努力を惜しまず、最大限の力を発揮している。

行政経営の基本方針

- 1 トップマネジメントの政策立案機能の強化
- 2 分権型の経営システムの確立
- 3 経営のできる人材の育成
- 4 意識と風土の改革

行政経営の重点戦略

- 1 予防や危機管理を重視した、地域全体での連携による、安心・安全対策の実施
- 2 誰もが安心して地域で暮らすための、最低限度の生活が保障されるしくみ、地域全体での支え合いのしくみの整備
- 3 便利で快適な市民生活を支える都市生活基盤の整備
- 4 地域の課題解決や日常生活支援の受け皿となる NPO やコミュニティビジネスの創出、産業の振興・育成
- 5 自立し、生きがいをもって暮らすための、予防・自立支援型の福祉政策、地域で活躍できる場・しくみの整備
- 6 次世代を担う人材の育成、地域社会の発展に貢献できる人づくり
- 7 地域全体で子育てをサポートするしくみの整備
- 8 環境と市民生活との共生・調和のための取り組みが可能となるしくみの整備

5 目標フレーム

◆人口

江南市の人口は、平成 19 年 4 月 1 日現在約 101,400 人となっていますが、このままの条件が続くと、平成 27 年度をピークに、緩やかな減少局面に入ることが予想されます。

この 10 年間で、今後、先に掲げた将来像を実現するために、地域経営・行政経営のそれぞれの視点から、各分野で戦略的な取り組みを展開することにより、平成 27 年度のピーク人口を維持することを目標とします。

平成 29 年度目標人口 103,000 人

◆土地利用

木曽川に沿って広がる江南市の地形は、全般に平坦で、木曽川の恵みを受けた肥沃な扇状地が広がっています。この貴重な資源である土地は、市民生活や産業活動の基盤であり、その利用にあたっては長期的な視点が必要です。

この考え方にに基づき、江南市の将来像である「豊かで暮らしやすい生活都市」を実現するため、恵まれた自然・大都市近郊といった地域の特性、周辺都市との連携、社会経済情勢を踏まえた計画的な土地利用を進めることを目標とします。

▶▶基本計画の見直し方針

前期・中期計画期間の成果と課題、江南市をとりまく社会経済情勢や環境変化を踏まえ、以下の5つの視点から、基本計画の見直しを図り、第二次改訂基本計画としてとりまとめました。

◆前期・中期計画期間で残された課題への確実な対応

- ・後期計画期間は、平成20年度にスタートした江南市戦略計画の「仕上げ」の期間であり、前期計画・中期計画期間で達成できなかった事項、まだ着手していない事項に確実に対応することが必要となります。
- ・第二次改訂基本計画では、「まちづくり評価」の結果を踏まえ、残された課題を明らかにし、残る4年間で計画的かつ確実に対応できるよう、計画内容の見直しを図りました。

◆前期・中期計画期間の取組をステップとした発展的取組

- ・後期計画期間では、前期・中期計画期間で達成できた成果を踏まえ、より発展的な課題への対応や、これまでの取組の成熟化などに取り組むことが重要となります。
- ・第二次改訂基本計画では、これまで得られた成果をステップアップしていくことに視点をおき、計画内容の見直しを図りました。

◆環境変化や新たな課題への的確な対応

- ・中期計画期間の間にも、江南市をとりまく環境は大きく変化しています。社会経済情勢などの外部の環境変化に伴い、新たにに取り組むべき課題も出てきています。
- ・第二次改訂基本計画では、こういった新たな環境変化を踏まえ、各分野で求められる方向性や成果を再確認し、それに沿った計画内容の見直しを図りました。

◆次代を見据えた新たな地域価値の創造

- ・江南市が今後も持続的に発展し続けるためには、江南市の未来を支える芽を育み、新たな地域価値の創造にチャレンジする必要があります。
- ・第二次改訂基本計画では、問題点の解消や弱みの改善だけでなく、江南市の良さ（強み）に目を向け、それを伸ばし、生かしていくための方策を明らかにすることに視点をおき、計画内容の見直しを図りました。

◆市民との対話によるまちづくり

- ・「江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査（平成25年4月～5月実施）」では、江南市のまちづくりの課題や、今後のあるべき方向性について、市民の考えをお聞きしています。また、「江南市まちづくり会議」では、市民と職員が一緒になって、江南市戦略計画の進行管理や新たなまちづくりに向けた議論を進めてきました。
- ・第二次改訂基本計画では、こういった市民ニーズや市民意見を十分に取り入れて、市民との対話を大切にし、共に考えながら計画内容の見直しを進めました。また、地域課題の解決に向け共に担う仕組みを構築していくために、市民と市役所の役割分担や、協働のあり方を再構築することに視点をおき、計画内容の見直しを図りました。

□平成25年度まちづくり会議の開催の経緯

★分野別会議

市民の代表の委員、及び市職員（課長級）で構成し、各分野のまちづくり評価、基本計画の見直しを行いました。

I 生活環境、産業分野		
第1回	10月	2日（水）
第2回	10月16日	（水）
第3回	10月30日	（水）
II 健康、福祉分野		
第1回	10月	2日（水）
第2回	10月21日	（月）
III 都市生活基盤分野		
第1回	10月	2日（水）
第2回	10月21日	（月）
IV 教育分野		
第1回	10月	2日（水）
第2回	10月16日	（水）
V 経営、企画分野		
第1回	10月	2日（水）
第2回	10月21日	（月）

★全体会議

各分野の代表の委員、及び学識経験者で構成し、分野を横断する課題について検討し、まちづくり評価、基本計画の見直しをとりまとめました。

第1回	11月18日（月）
-----	-----------

▶▶▶ 中期計画期間の成果と課題

中期計画期間の目標達成状況と成果、今後の課題は、次のとおりです。

1 全体の目標達成状況

江南市戦略計画の全指標の平均目標達成率は 95.8%となっています。また、達成率 90%以上の指標は、71.1%で、概ね目標を達成している状況といえます。

平均目標達成率	95.8%	
	〈項目数〉	〈割合〉
達成率 90%以上の指標	155 項目	71.1%
達成率 70%以上の指標	39 項目	17.9%
達成率 70%未満の指標	24 項目	11.0%

※指標の達成率は、平成 25 年 8 月現在で、実績値の把握できるものの集計

《市民満足度の変化の状況》

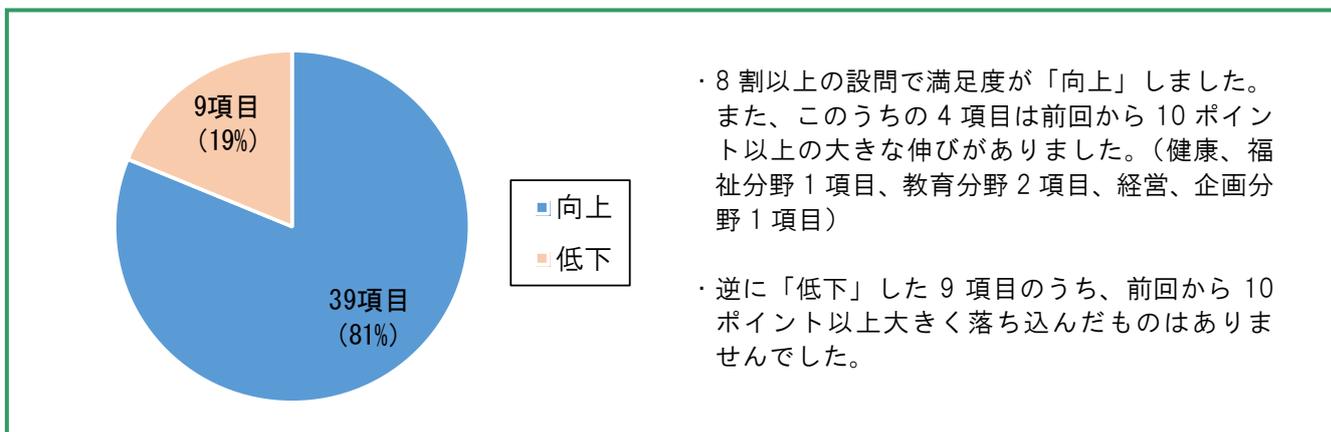
市民満足度がどのように変化したかを明らかにするため、「江南市戦略計画における目標達成状況把握のための市民調査」(アンケート)を実施しました。基本計画掲載の指標のうち、市民の満足度や行動の実践度を表す指標 48 項目について、それぞれ前回調査(平成 22 年 5 月実施)からの満足度の変化を確認しました。

■調査概要

調査期間	平成 25 年 4 月 26 日～平成 25 年 5 月 15 日				
調査対象	江南市に居住する満 18 歳以上の人から、無作為で 1,800 人を抽出				
発送	1,800 票	回収	825 票 (回収率: 45.8%)	有効回答	823 票

※「満足度」とは

各設問について、5つの選択肢のうち上位の2つ(「満足」、「どちらかといえば満足」という趣旨の回答)を選択した人の割合を満足度としています。



2 各分野の目標達成状況と成果、今後の課題

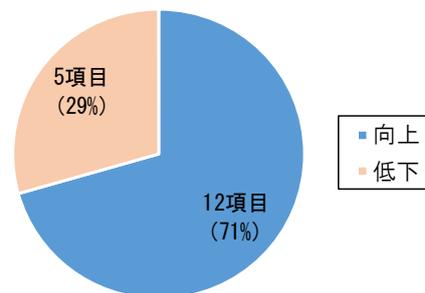
I 生活環境、産業分野

《目標達成状況》

全体目標の平均目標達成率	95.3%
個別目標の平均目標達成率	94.1%
柱1 防災・地域防犯・交通安全	97.3%
柱2 消防・救急	102.4%
柱3 市民生活	91.6%
柱4 産業振興・雇用就労	81.7%
柱5 環境保全	93.2%
柱6 ごみ減量・処理	112.2%

全体目標の平均目標達成率は95.3%で、概ね目標達成している状況といえます。犯罪や災害への不安が少なく、消防・救急体制が整い、また、ごみ減量やりサイクルを取り入れた生活環境により、市民は安心・安全に暮らしている状態にあるものの、「産業振興・雇用就労」については、90%に満たない達成状況であり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

《市民満足度》



- ・全体的には満足度が向上していますが、「防災・地域防犯」、「消防・救急」に関する設問では、一部満足度が低下した設問も見られました。
- ・「環境保全」、「ごみ減量」に関する設問で満足度の低下が見られました。

◆主な成果

- ・同報系防災行政無線、移動系防災行政無線、防災ラジオ、全国瞬時警報システム（J-アラート）と連動したあんしん安全ねっと、携帯エリアメールなど各方面からの情報伝達手段を整備し、有事の際の情報伝達力を強化したことにより、安心・安全なまちづくりに貢献したこと。
- ・消防団分団班車庫の建設、最新の消防車両への更新等、耐震性防火水槽の設置及び消防施設の充実強化や普通救命講習を開催することにより、救命率向上を図ることができたこと。
- ・戸籍の電算化をはじめ、番号案内表示機を設置、フロアマネージャーの導入などにより、気軽に安心して、諸証明等を請求し、受領することができ、窓口サービスの向上につながったこと。
- ・景気の落ち込みに伴い、中小事業者支援や失業者支援を行ったこと。
- ・騒音・振動・悪臭を発生させる事業所等に立入り調査等を実施し、公害の発生を防止してきたことにより、快適な環境で生活できていること。

◆主な今後の課題

- ・コミュニティの高齢化・弱体化により地域の防犯・防災機能が徐々に低下していくことが考えられるため、市役所が地域の自主的活動を支援していく必要があること。
- ・多様化・大規模化する災害・事故に的確に対応するため、全国的に消防広域化が進められているところであり、大規模な消防体制の構築に積極的に取り組む必要があること。
- ・費用対効果の検証等を踏まえ、いこまいCAR（予約便）のあり方を含め、市内公共交通のあり方を検討する必要があること。
- ・産業の活性化と観光客の誘客を図る必要があること。
- ・ごみ処理の広域化による新ごみ処理施設建設の実現に向けて取り組みを進める必要があること。

●生活環境、産業分野の修正した指標一覧

柱	目標区分	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値		
					H22	H25	H29
2 消防・救急	個別②	危険物施設の立入検査改善施設指示率	%	24.9 (H18)	20.0 14.3	15.0 ***	0.0 ***
	個別②	優良危険物施設率	%	91.3 (H22)	— 91.3	95.0 ***	100.0 ***
3 市民生活	個別①	相談を受けて、悩みごとが解消した割合(消費者相談)	%	75.0 (H19)	80.0 70.0 (H21)	85.0 ***	90.0 ***
	個別①	相談を受けて、悩みごとが解消した割合(弁護士などの専門家による相談)	%	66.7 (H19)	70.0 63.2 (H21)	75.0 ***	80.0 ***
	個別①	消費生活相談の件数	件	67 (H19)	65 65	80 ***	80 ***
	個別①	弁護士などの専門家による相談の件数	件	576 (H19)	587 587	620 ***	620 ***
4 産業振興・雇用就労	全体	市内に雇用の場があり、活力あふれるまちであると感じる市民の割合	%	16.6 (H19)	20.0 15.4	24.0 20.3	30.0 25.0 ***
	個別①	製造品出荷額	億円	1,602 (H17)	1,602 1,149	1,602 ***	1,602 1,200 ***
	個別①	売上DI値	%	△19.4 (H18)	△16.0 △49.1	△12.0 ***	△8.0 △40.0 ***
	個別②	コミュニティビジネスを展開している事業所数	所	不明 (H19)	— ***	— ***	— ***
	個別②	起業家からの相談件数	件	0 (H18)	10 2	20 ***	30 ***
	個別②	創業支援セミナーへの参加者数	人	22 (H24)	— ***	— ***	30 ***
	個別③	地域に雇用の場が確保され、十分な状態であると感じる市民の割合	%	7.2 (H18)	10.0 8.3	15.0 10.2	20.0 15.0 ***
	個別④	認定農業者数	人	45 (H18)	50 42	53 ***	57 31 ***
	個別④	耕作放棄地の面積	ha	208 (H17)	190 217	170 ***	150 190 ***
	個別④	JA 出荷額	千円	312,000 (H18)	312,000 263,000	312,000 ***	312,000 270,000 ***
	個別⑤	多くの観光客で賑わい、観光の振興が十分な状態であると感じる市民の割合	%	27.3 (H18)	28.0 32.3	33.0 38.8	34.0 40.0 ***

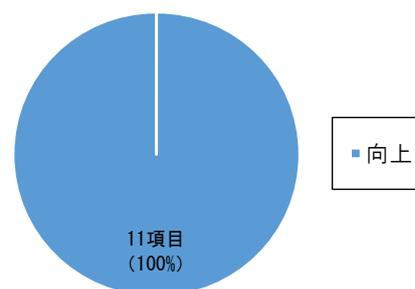
II 健康、福祉分野

《目標達成状況》

全体目標の平均目標達成率	102.4%
個別目標の平均目標達成率	94.7%
柱1 高齢者福祉	89.3%
柱2 子育て	86.4%
柱3 障害者福祉	97.7%
柱4 健康づくり	96.9%
柱5 保険年金	94.5%
柱6 生活支援・福祉活動	112.5%

全体目標の平均目標達成率は102.4%で、目標を達成している状況といえます。「高齢者福祉」や「障害者福祉」における達成率の伸びが大きく、地域全体で高齢者や障害者などを支援し、住み慣れた地域で、安心していきいきと暮らしているといえます。しかし、「子育て」のように、個々の指標の達成状況が低いものもあり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

《市民満足度》



- ・ 全ての設問で前回調査から満足度が向上しました。
- ・ 「健康づくり」に関する設問では、前回からほとんど満足度の変化が見られませんでした。

◆主な成果

- ・ 地域包括支援センターなどの関係機関と連携し、介護予防事業及び相談窓口の充実を図ることができたこと。
- ・ 古知野西保育園について、平成25年度からの指定管理者制度の導入に向け選定及び指定管理者との合同保育を実施し、スムーズに引継を行うことができたこと。
- ・ 聞き取りにより障害状況に応じた障害福祉サービスの提供ができたこと。
- ・ 予防接種、妊産婦及び乳幼児健康診査が、高い接種率・受診率を保つことができたこと。
- ・ 国民健康保険、後期高齢者医療、子ども・母子・障害者などの福祉医療について給付を実施し、市民生活の不安を軽減することができたこと。
- ・ ハローワーク、就労支援員、江南市社会福祉協議会などの関係機関と連携し、生活困窮者などの自立に向けての支援を行うことができたこと。

◆主な今後の課題

- ・ 高齢化の進展に伴い投入する資源の増大が課題となるため、時代に即した施策の見直しや受益者負担のあり方を検討しながら、今後の活動を継続していく必要があること。
- ・ 子どもを生子、育てたいという個人の希望がかなうようにするためのサポートが強く求められており、親が子どもを育てやすい環境整備を図るなど、積極的に支援する必要があること。
- ・ 障害のある人やその家族が相談できる身近な場所の確保や、必要な時に必要な障害福祉サービスを受けることができるための支援体制を充実する必要があること。
- ・ よりよい生活を維持するために健診（検診）などの受診率の向上を図る必要があること。また、こころの健康づくりにおいて知識の普及啓発、相談体制などを整備する必要があること。
- ・ 国民健康保険及び後期高齢者医療制度の健全で安定した運営を維持することが求められており、保険税（料）の確保及び医療費の抑制を図る必要があること。
- ・ 生活困窮者や高齢者などが増え続けている中、これらの方々の自立に向けての経済的支援や生活支援などを充実させ、より一層関係機関との連携を図る必要があること。

●健康、福祉分野の修正した指標一覧

柱	目標区分	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値		
					H22	H25	H29
1 高齢者福祉	個別①	高齢者人口に占める要介護者の割合	%	13.0 (H18)	15.0	16.3	17.6
					12.6	***	***
	個別③	シルバー人材センターの登録者数	人	491 (H18)	631	721	811
					372	***	***
	個別③	老人クラブの会員数	人	6,866 (H19)	8,302	8,651	9,000
					5,938	5,322	***
2 子育て	個別①	保育園の障害児受入待機児童数	人	0 (H18)	0	0	0
					0	***	***
	個別①	学童保育受入待機児童数	人	0 (H18)	0	0	0
					0	***	***
	個別②	子育て支援センター(子育てサロン)の延べ利用者数	人	7,632 (H18)	8,700	12,000	12,500
					11,927	10,500	11,000
						***	***
個別③	学童保育受入待機児童数	人	0 (H18)	0	0	0	
				0	***	***	
個別⑤	市の母子通園施設への受入待機児童数	人	0 (H18)	0	0	0	
				0	***	***	
個別⑤	保育園の障害児受入待機児童数	人	0 (H18)	0	0	0	
				0	***	***	
3 障害者福祉	個別①	障害者の雇用率	%	1.46 (H18)	1.80	1.80	1.80
					1.56	***	***
	個別②	基幹相談支援センターへの相談件数	人	1,096 (H25)	***	***	1,100
					***	***	***
個別②	社会福祉法人への指導監査における不適正な運営指摘件数	件	0 (H25)	***	***	0	
				***	***	***	
個別③	市の母子通園施設への受入待機児童数	人	0 (H18)	0	0	0	
				0	***	***	
4 健康づくり	個別①	予防接種(三種四種混合)接種率	%	89.4 (H18)	100.0	100.0	100.0
					100.0	***	***
個別④	病院等の医療体制が整い、安心して暮らしていると感じる市民の割合	%	49.3 (H18)	53.0	73.0	75.0	
				71.7	77.3	***	
5 保険年金	個別①	特定健康診査実施率	%	—	50.0	65.0	65.0
					46.2	50.0	60.0
					***	***	

Ⅲ 都市生活基盤分野

《目標達成状況》

全体目標の平均目標達成率	96.4%
個別目標の平均目標達成率	96.2%
柱1 市街地整備	101.8%
柱2 道路	82.8%
柱3 公園緑地	103.6%
柱4 下水道	99.5%
柱5 治水	85.6%
柱6 住環境	98.5%
柱7 上水道	100.6%

全体目標の平均目標達成率は96.4%で、概ね目標達成している状況といえます。公園、水道施設などが整備され、市民は安心して暮らしている状態にあるものの、「道路」「治水」については、90%に満たない達成状況であり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

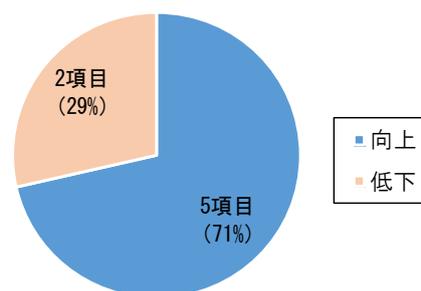
◆主な成果

- ・都市計画道路の整備により、安心安全な歩行空間が確保されたこと。
- ・市民ボランティアによる環境美化活動を支援することにより、地域の道路・河川などに愛着を持たせることができ、環境美化に対する認識が高まったこと。
- ・遊歩道・サイクリングロードを活用したイベントを実施することで、ボランティア団体同士の連携が進み、フラワーパーク江南などの利用促進も図れたこと。
- ・新たに11.3haの区域を整備し、下水道を使える区域にしたこと。
- ・雨水貯留浸透施設設置費補助金交付要綱等を改正し、補助率を4分の3から10分の9に引き上げたことにより、市民がより利用しやすい補助金制度としたこと。
- ・愛知県や建築士の協力を得てパトロールを実施し、建築・建物解体の現場で適正な指導をすることができたこと。
- ・水道料金のコンビニ収納を実施し、使用者の利便性を確保するとともに、口座振替の納付を進め収納率の向上に努めることができたこと。

◆主な今後の課題

- ・布袋駅付近の整備を集中的に施行しており、江南駅付近の都市計画道路を始めとした基盤整備が必要であること。
- ・生活道路の安全性、利便性の向上に対するニーズが高まっており、限られた財源で計画的、効率的な道路整備が必要であること。
- ・花いっぱい運動を魅力のある花を選定するなどにより運動の活性化を図る必要があること。
- ・全国平均と比べると依然として大きく遅れている下水道普及率を向上させる必要があること。
- ・第3次江南市総合治水計画を基に、効率的・効果的な治水対策を実施していく必要があること。
- ・耐震化の必要な木造住宅について、耐震化の意識啓発と減災化の対応も検討する必要があること。
- ・おいしい水の安定供給や大規模地震などを想定した危機管理体制の充実を行う必要があること。

《市民満足度》



- ・全体的には満足度が向上しています。特に「上水道」に関しては8割を超える高い満足度が得られています。
- ・「治水」、「住環境」に関する設問では満足度の低下が見られます。

●都市生活基盤分野の修正した指標一覧

柱	目標区分	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値		
					H22	H25	H29
1 市街地整備	個別③	土地区画整理事業の進捗率	%	85.4 (H21)	86.6	96.5 93.0	— 93.4
					85.4 (H21)	***	***
2 道路	個別①	市道のアダプト制度の登録者数	人	175 (H18)	583	1,166	1,750 940
					329	***	***
4 下水道	全体	下水道普及率	%	18.5 (H18)	20.3	23.1	27.2 34.2
	個別②	認可区域内の整備率	%	66.3 (H18)	79.0	86.2	95.7
					80.2	***	***
	個別②	市街化区域内の整備率	%	39.8 (H19)	45.8	52.9	72.6
				45.8	***	***	
5 治水	個別①	雨水浸透柵設置率	%	12.2 (H18)	21.0	26.0	33.0
	個別①	雨水貯留浸透施設設置補助金申請件数	件	52 (H22)	7.0	***	***
					70	200	200
				52	***	***	
7 上水道	個別①	水道普及率	%	88.8 (H18)	89.2	89.2	91.8 93.5
					89.5	***	***
	個別②	配水管改良整備率	%	72.1 (H18)	77.8	81.9	86.9 83.9
					77.7	***	***
	個別②	有収率	%	91.4 (H18)	92.5	93.0	94.0 94.2
94.1					***	***	

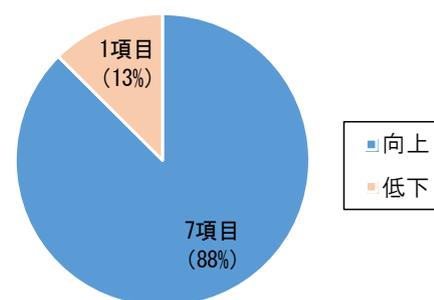
IV 教育分野

《目標達成状況》

全体目標の平均目標達成率	99.1%
個別目標の平均目標達成率	96.0%
柱1 学校教育	83.6%
柱2 教育環境	91.4%
柱3 生涯学習	95.7%
柱4 文化・交流	112.6%

全体目標の平均目標達成率は99.1%で、概ね目標達成している状況といえます。「学校教育」については、快適で安全な状態で児童・生徒が学習活動に取り組むことができているものの、達成状況は83.6%にとどまり、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

《市民満足度》



- ・「教育環境」に関する設問で、満足度が前回から大きく向上しています。
- ・「学校教育」に関する設問で、若干の満足度の低下が見られました。

◆主な成果

- ・中学校区を単位として、地域ボランティア活動やあいさつ運動などの啓発・情報交換・実践活動等を行ううえで学校、家庭、地域の連携を図り、非行防止等の活動が実施され、即座の対応を図ることができたこと。
- ・事業所の協力による職場体験学習を実施した結果、その体験により生徒が自分自身で進路を選択する能力の育成を図ることができたこと。
- ・教育現場の意見に基づいた議論を行うために、学校訪問や学校状況視察、他都市との意見交換をしたこと。
- ・生涯学習講演会、IT講習会、公開講演会、乳幼児学級等を開催し、市民のニーズに応えることができたこと。
- ・文化芸術活動や交流活動に興味を持ち、余暇の時間を有効に利用しようとする市民の増加を図ることができたこと。

◆主な今後の課題

- ・地域との連携を深め、情報公開を推進し、学校評議員の意見を求め、さらに開かれた学校づくりを推進する必要があること。
- ・心の悩みを抱える児童・生徒やいじめ不登校問題は大きな問題であり、学校・家庭・地域住民が連携して取り組む必要があること。
- ・「健康・生きがい・仲間づくり」をテーマに実施している高齢者教室の会員を増やしていく必要があること。
- ・子育てや親の介護に迫られる世代にも文化芸術活動や交流活動を通じて、心豊かな生活を送っていると感じられるような事業の展開を図ることが必要であること。

●教育分野の修正した指標一覧

柱	目標区分	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値		
					H22	H25	H29
1 学校教育	個別③	朝食を食べない日がある児童・生徒の割合	%	小学校 7.3 中学校 13.8 (H18)	小学校 0.0 中学校 3.0	小学校 0.0 中学校 2.0	小学校 0.0 中学校 1.0
					小学校 9.0 中学校 15.2	***	***
	個別③	登校前に朝食を食べている児童・生徒の割合	%	小学校 92.7 中学校 86.2 (H18)	小学校 100 中学校 97.0	小学校 100 中学校 98.0	小学校 100 中学校 99.0
					小学校 91.0 中学校 84.8	***	***
2 教育環境	全体	青少年が健全に育成されていると感じる市民の割合	%	30.1 (H19)	31.6 38.7	40.2 49.3	42.2 51.3 ***
	個別①	子どもから大人までの教育環境が整っていると感じる市民の割合	%	35.0 (H19)	36.5 35.9	38.0 43.0	40.0 45.0 ***
	個別③	家庭・学校・地域が協力して子どもたちの健全育成のために取り組んでいると感じる市民の割合	%	51.5 (H19)	53.0	54.5	56.5 57.0
					50.6	56.5	***
3 生涯学習	個別③	審議会などにおける女性委員の登用率	%	18.4 (H18)	25.0 26.1	30.0 27.1	35.0 30.0 ***
	個別③	男女共同参画講演会やセミナーなどへの参加割合	%	60.5 (H17)	70.0	70.0 90.0	70.0 90.0
					88.3	***	***
	個別③	男性も女性も、意欲に応じて、あらゆる分野(家庭,地域,職場)で活躍できていると感じる市民の割合	%	30.8 (H22)	30.8	45.0 43.5	48.0 ***
4 文化・交流	個別②	指定登録文化財の数	件	国 5 県 9 市 92 登録 2 (H18)	国 5 県 9 市 92 登録 2	国 5 県 9 市 92 登録 3	国 5 県 9 市 92 登録 3
					国 5 県 9 市 92 登録 3	国 5 県 9 市 94 登録 3	***

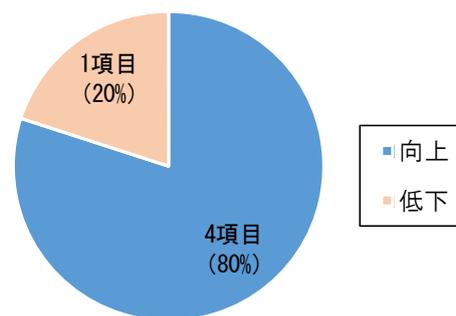
V 経営、企画分野

《目標達成状況》

全体目標の平均目標達成率	109.3%
個別目標の平均目標達成率	95.4%
柱1 地域経営	69.9%
柱2 行政経営	98.3%
柱3 課税・収納	82.6%
柱4 行政事務管理	110.9%
柱5 議会運営への支援	189.2%

全体目標の平均目標達成率は109.3%で、目標を達成している状況といえます。「議会運営への支援」の達成率が大きく伸びているほか、「行政経営」、「行政事務管理」の達成状況も良好であり、公平かつ適正な行財政運営が行われている状況であるものの、「地域経営」の達成率が低く、めざすべき協働型社会の構築に向け、今後のさらなる市民や市役所の取り組みが必要です。

《市民満足度》



- ・「課税・収納」に関する設問で、満足度が前回から大きく向上しています。
- ・「地域経営」に関する設問で若干の満足度の低下が見られました。

◆主な成果

- ・見やすく、わかりやすいホームページの作成に努めた結果、目標を上回るアクセス件数となり、情報発信の成果が現れてきたこと。
- ・江南市戦略計画に基づく新しい行政経営を推進することにより、めざす目標や使命を明確にした、効率的で効果的な業務執行ができたこと。
- ・滞納整理機構への参加により職員の資質が向上し、より効果的かつ効率的な滞納処分を実施できたこと。
- ・歳計現金について、年間の収支状況を把握し、安全かつ有利な運用を図れたこと。
- ・市広報における議会関連記事の拡充や、インターネットによる一般質問の生中継など、議会に関する情報発信を強化したことにより、「議会活動がわかりやすく説明されていると感じる市民の割合」が向上したこと。

◆主な今後の課題

- ・公募型協働支援補助事業の採択数を伸ばすため、事業のPR方法やしぐみについて工夫する必要があること。
- ・これまでの業務執行体制の検証により問題点や課題を洗い出し、それらを解決するために組織編成を見直す必要があること。
- ・市民の納税意識を高めるために広報活動を充実することや、滞納者への厳格な対応など、収納率向上に向けた対策を推進する必要があること。
- ・効率的かつ円滑な事務管理を推進するとともに、電子自治体の実現を図る必要があること。
- ・インターネット環境が無い方も議会に関する多くの情報が得られるよう、市広報以外にも様々な手段を検討する必要があること。

●経営、企画分野の修正した指標一覧

柱	目標区分	指標名	単位	基準値	上段:目標値 下段:実績値		
					H22	H25	H29
1 地域経営	個別①	アダプト制度の登録割合	%	0.67 (H18)	2.00 0.44	4.00 ***	6.0 *** 1.50
	個別①	認可された地縁団体の組織数	団体	33 (H18)	41 37	48 ***	55 ***
2 行政経営	全体	江南市第二次経営改革プラン(江南市第七次行政改革大綱)の進捗状況	%	—	— —	— —	100.0 ***
	個別①	事務事業が改善された割合	%	65.2 (H18)	100.0 85.2	100.0 ***	100.0 ***
	個別①	江南市戦略計画に関する住民説明会の参加人数	人	1,456 (H17)	1,600 1,241	1,800 ***	2,000 ***
	個別①	政策会議に付議した案件数	件	18 (H24)	— —	▲ ***	▲ ***
	個別③	事務事業が改善された割合	%	65.2 (H18)	100.0 85.2	100.0 ***	100.0 ***
	個別④	財政力指数(単年度)	—	0.91 (H19)	0.92 0.82	0.95 ***	1.00 *** 0.90
4 行政事務管理	個別②	普通財産に占める未利用地の割合	%	9.2 (H18)	8.3 11.0	7.9 ***	6.8 7.9 ***
	個別③	決算審査における意見等指摘件数	件	6 (H18)	0 10	0 5	0 ***

▶▶目標フレーム見直しの考え方

江南市戦略計画見直しの基本となる枠組み（目標フレーム）の見直し内容は、次のとおりです。

（1）人口

◆人口の見通し

江南市の総人口は、平成 22 年度以降は、微減が続いています。この間の人口減少は、外国人の減少が一つの大きな要因と考えられますが、景気後退等の影響も大きいと推測されることから、今後の見通しは不透明であり、この傾向が続くかどうかを現時点で判断することは困難です。

平成 25 年度時点の総人口は、「江南市戦略計画」策定時に設定した将来目標人口を 1,143 人下回っていますが、これは目標人口に対して 1.113%の差であり、現時点で政策展開の枠組みに大きな影響を及ぼすものではないと考えられます。

また、江南市、および周辺自治体において、大規模な宅地開発や工場誘致など、今後の人口増減に大きな影響を与える新たな要因も想定されていません。

以上より、現時点では、将来目標人口を見直す必要性は低く、第二次改訂基本計画では、江南市戦略計画で掲げた将来目標人口を引き続き継承していくこととします。

◆将来目標人口

計画期間中に展開する子育て環境の充実、安心・安全度の向上、住環境の充実などの各種施策を実施することにより、平成 29 年度の目標人口として 103,000 人を達成することをめざします。

年 度	平成 22 年度	平成 25 年度	平成 29 年度
総人口	102,100 人 (実績:102,128 人)	102,700 人 (実績:101,557 人)	103,000 人
年少人口 (0~14 歳)	15,237 人	14,973 人	14,260 人
生産年齢人口 (15~64 歳)	64,854 人	63,683 人	61,854 人
老年人口 (65 歳~)	22,009 人	24,044 人	26,886 人

(2) 財政

◆財政計画

平成 26 年度予算見込額を基礎として、平成 29 年度までの財政状況を一般会計ベースで見通しました。

(歳入)

市税は、今後予想される税制改正及び人口推計などを加味して推計しました。地方交付税は、市税等の動向や現状を勘案して推計しました。その他、歳入については、平成 26 年度予算見込額を基礎として、過去の実績の推移等を勘案して推計しました。

(歳出)

人件費は、今後の職員数を見込んで推計しました。扶助費は、少子高齢化への対応等の行政需要が年々増加することが予想されますが、人口推計などを加味して推計しました。投資的経費は、計画期間内に実施する事業を踏まえて推計しました。その他の歳出については、平成 26 年度予算見込額を基礎として推計しました。

施設維持管理に係る経費を別枠で設け、年度事業費の平準化を図り、施設の耐用年数に直接影響する工事を、優先的かつ計画的に行っていきます。

(単位:百万円)

年 度		26	27	28	29
歳 入 総 額		27,746	27,556	27,519	27,662
自 主 財 源	市 税	12,238	12,083	12,135	12,188
	そ の 他	2,993	3,895	4,058	3,847
依 存 財 源	市 債	2,754	2,358	2,271	2,763
	地 方 交 付 税	2,608	2,352	2,135	2,154
	そ の 他	7,153	6,868	6,920	6,710
歳 出 総 額		27,746	27,556	27,519	27,662
義 務 的 経 費	人 件 費	4,875	4,971	5,085	4,794
	扶 助 費	5,639	5,656	5,710	5,764
	公 債 費	2,466	2,326	2,477	2,577
投 資 的 経 費		3,181	2,476	2,183	2,555
そ の 他 経 費		11,585	12,127	12,064	11,972

※平成 26 年度は予算見込額、平成 27 年度以降は計画

自主財源

市が自らの権限で収入することができる財源で、主なものは市税（市民税、固定資産税など）です。その他には、分担金・負担金（市が行う事業により利益を受ける者から徴収するお金）や使用料（公共施設を利用したときに徴収される料金）、手数料（証明書等の交付を受けたときに利用者が負担するお金）、諸収入（他の歳入科目に含まれない収入で預金利子や雑入等）などがあります。

依存財源

国や県の意思決定により収入される財源で、主なものは市債、地方交付税です。その他には、地方譲与税や利子割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、国庫・県支出金などがあります。

義務的経費

任意に削減できない極めて硬直性が強い経費で、人件費（職員の給与等）、扶助費（生活保護費等）及び公債費（地方債の元利償還金等）があります。

投資的経費

道路、橋りょう、公園、学校の建設等社会資本の整備等に要する経費で、普通建設事業費と災害復旧事業費があります。

その他経費

義務的経費及び投資的経費以外の経費で、物件費（旅費や備品購入費、委託料等）や維持補修費（公用・公共施設などの修繕に係る経費）、補助費等（民間団体や他の地方公共団体などが行う事業に対して支出する補助金や負担金等）、繰出金（特別会計へ支出する経費）などがあります。

(3) 土地利用

「豊かで暮らしやすい生活都市」にふさわしい健全な都市環境の形成と都市機能の集積を実現するため、江南市の骨格となり、将来の発展軸となる都市軸を設定するとともに、市域を5つのゾーンに区分し、各ゾーンの調和がとれた計画的な土地利用を進めます。

◆にぎわいのゾーン

市民生活の中心となるゾーンとして、都市機能の集積を高めるとともに、江南市のシンボルとなる景観とにぎわいを形成します。

◆くらしのゾーン

安全で安心して暮らせる居住環境を形成するため、市街地整備を進めるとともに、うるおいのある快適な空間づくりを進めます。

◆のびゆくゾーン

市内における就業の場となる活力ある工業ゾーンとして、周辺環境に配慮しつつ、今後も地域経済に貢献していきます。

◆ゆとりのゾーン

都市空間にゆとりをもたらすゾーンとして、市街化を抑制し、農地の多面的な機能を維持・活用します。

◆うるおいのゾーン

木曾川や五条川沿いの恵まれた水辺や緑地など身近な自然を保全し、憩いとうるおいを提供するとともに、レクリエーションの場として活用します。

◆都市軸

市街地の骨格を形成し、周辺都市との交流を活性化する発展軸となるとともに、市内各地区との連携を強化し、一体的なまちづくりを促進する道路として次の路線を設定します。

東西軸：北尾張中央道（国道155号）・一宮犬山線・県道浅井犬山線

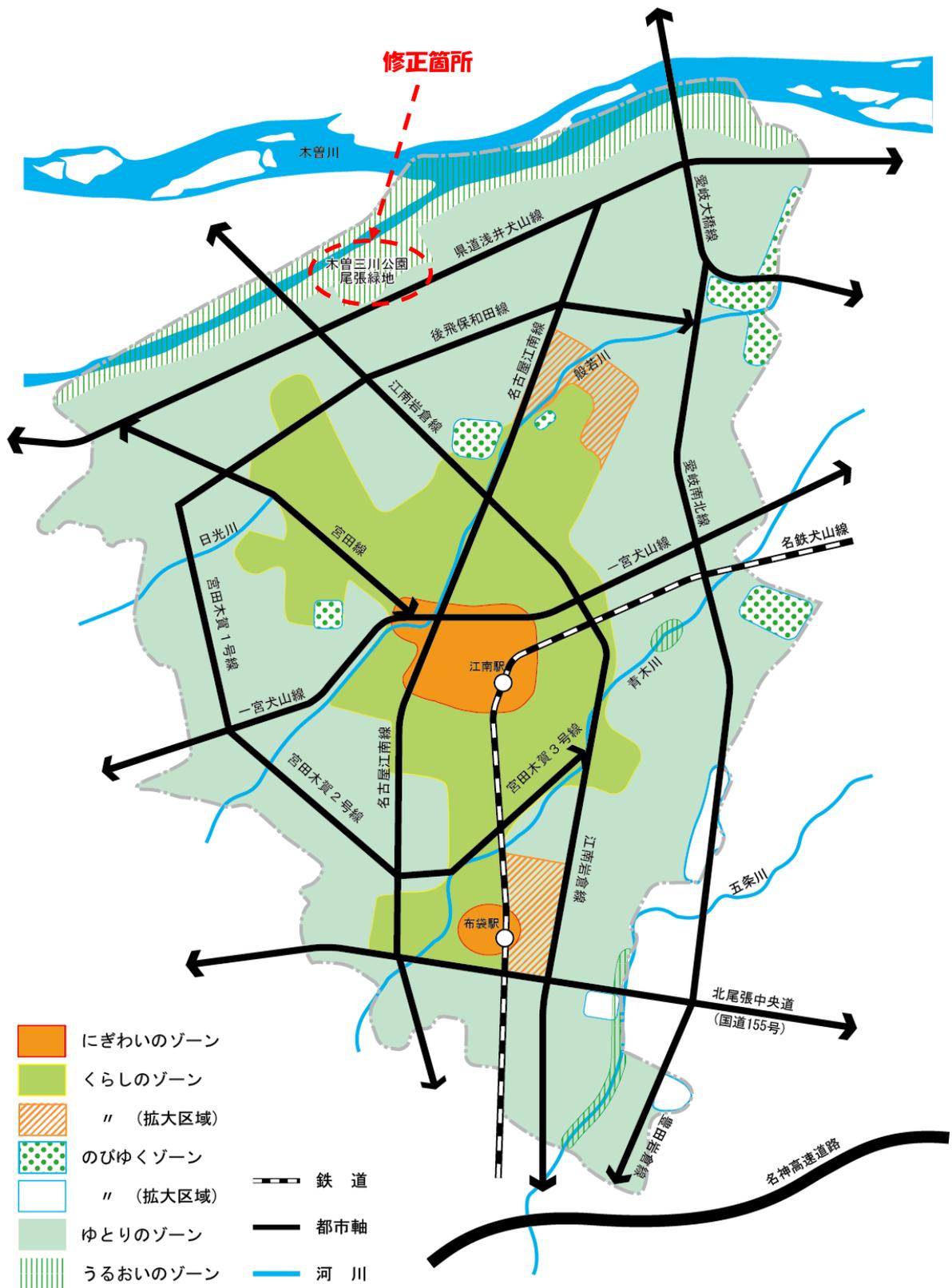
南北軸：名古屋江南線・江南岩倉線・愛岐南北線・愛岐大橋線・宮田線・豊田岩倉線

環状軸：後飛保和田線・宮田木賀1号線・宮田木賀2号線・宮田木賀3号線

土地利用の方針については、前回(平成22年度)の見直し時に、平成21年3月に策定された江南市都市計画マスタープランの内容を反映させるための見直しを行ったところですが、その後は特に方針転換がないため、軽微な時点修正のみを行うこととします。

見直し内容は次のとおり

・土地利用構想図の「木曾三川公園尾張北部緑地」を「木曾三川公園尾張緑地」に修正



【土地利用構想図】

分野別計画の体系

基本構想

将来像

【江南市の地域社会のしくみ】

だれもが主役、
みんなで築く、
～地域の進むべき方向を「共に考え」

豊かで暮らしやすい

～市民の生活が地域で支えられる

【都市機能】

分野

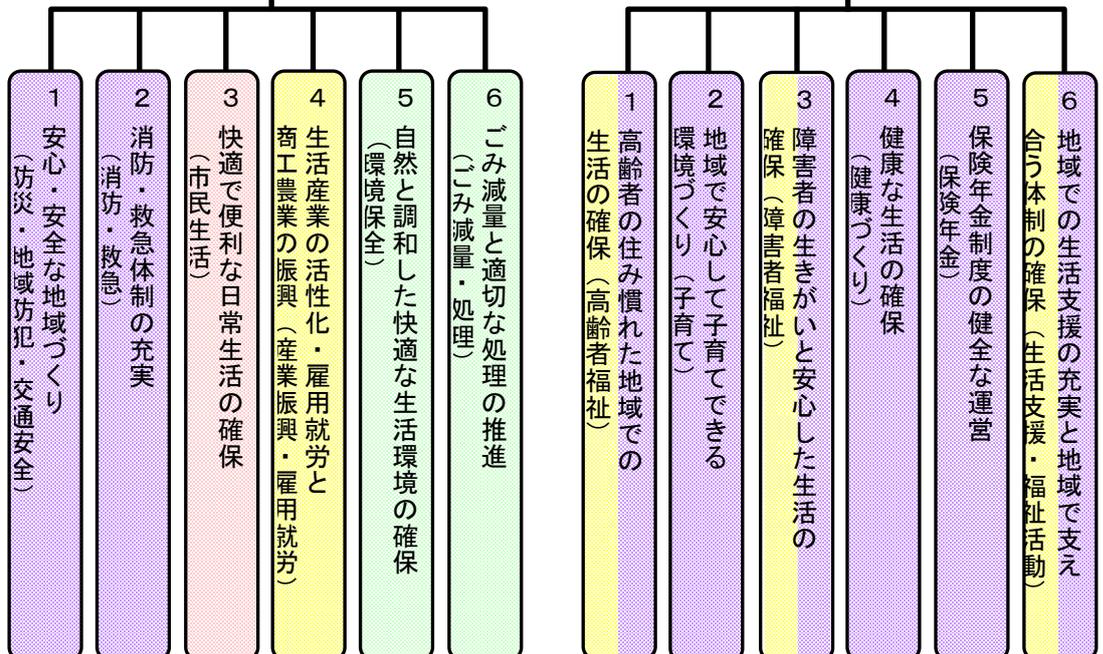
I
生活環境、産業

市民がいきいきと働き、地域が活力にあふれ、市民は安心・安全、快適・便利に暮らしている。

II
健康、福祉

地域全体で子育てや介護などを支援し、市民が健康で自立した生活をし、安心していきいきと暮らしている。

柱



基本計画

みんなの郷土

地域づくりを「共に担う」～

生活都市

「生活都市」～

- 安心・安全に暮らせるまち
- 快適・便利に暮らせるまち
- 市民が生きがいをもち、活力あふれるまち
- 豊かな人材が育つまち
- 環境と調和した豊かな生活の場があるまち

Ⅲ 都市生活基盤

都市生活基盤が整備され、すべての市民が快適で安心・安全な生活をしている。

- 1 秩序と賑わいのある快適なまちづくり
(市街地整備)
- 2 人にやさしいみちづくり
(道路)
- 3 花と緑あふれる公園づくり
(公園緑地)
- 4 公共下水道の普及促進
(下水道)
- 5 浸水被害のないまちづくり
(治水)
- 6 安心・安全な住環境の確保
(住環境)
- 7 健全な水道事業経営と安全な水の安定供給(上水道)

Ⅳ 教育

次世代の社会を担う豊かな人間性と学力をもった子どもが育っているとともに、市民が生涯にわたり学び、それを地域社会に活かしている。

- 1 地域に開かれた快適で安全な学校づくり(学校教育)
- 2 将来にわたって活躍できる人づくり
(教育環境)
- 3 生涯を通して能力を伸ばし、活かせる機会づくり(生涯学習)
- 4 豊かな、創造性ある文化・交流活動の充実(文化・交流)

Ⅴ 経営、企画

市民と市役所との信頼関係のもとに協働型社会が構築されており、限られた経営資源の中で最大の成果を実現し、効率的で公平かつ適正な行財政運営が行われている。

- 1 地域協働の推進
(地域経営)
- 2 戦略的な行政経営の推進
(行政経営)
- 3 公平かつ適正な課税・収納
(課税・収納)
- 4 効率的かつ円滑な事務管理の推進
(行政事務管理)
- 5 より開かれた適切な議会運営への支援(議会運営への支援)

